

社会的要因

社会的要因 しゃかいてきよういん

国際放射線防護委員会（ICRP）が、放射線防護の最適化の考え方として、1977年に出された「線量制限体系に関する勧告」の中で使用された言葉である。すなわち、「経済的・社会的要因を考慮に入れながら合理的に達成できる限り低く」被曝線量を制限するという表現で記述されており、社会における便益と損害のバランスに重点を置いた意思決定手法の重要性を強調している。

<登録年月>

1998年01月
